

# 福祉サービス第三者評価結果

事業所名	社会福祉法人 森友会 よいこの森こども園
------	-------------------------

## 福祉サービス第三者評価結果

### ①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

### ②第三者評価実施期日

令和6年10月31日

### ③事業者情報

名称：社会福祉法人 森友会 よいこの森こども園	種別：保育所
代表者氏名：理事長 立山 貴史	定員（利用人数）165名
所在地：〒870-0243 大分市花江川4番12号 TEL：097-527-6433	

### ④総評

#### ◇評価の高い点

【保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。】

法人は、教育及び保育の内容に関する全体的な計画の「自己評価等」の項目に「保育者等自己評価及び園評価」「保育振り返りチェック（森友会大分地区グループ園と合同実施）」を定めている。組織的に評価を行う体制として、「保育の質向上委員会」が整備されている。法人中長期・短期事業計画には、第三者評価受審を明示し定期的に受審している。

【職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。】

法人は、九州地区各園から労務管理に関するデータの収集を行い、ブロック統括、園長が定期的に協議を行い、改善する仕組みが構築されている。固定残業制度、年次有給休暇取得促進、育児短時間勤務制度、看護休暇を定めている。職員に心身の健康と安全の確保に努めるためアプリを利用したストレスチェックを3ヶ月ごとに実施している。相談窓口として、大分市内3園を回る、保育アドバイザーに相談出来る体制を構築している。

【子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。】

子どもを尊重した保育に関する基本姿勢は「職員の心得」に標準的な実施方法として文書化している。基本的人権への配慮について、振り返りカード、虐待防止については、アプリを活用し定期的に状況把握、評価を行っている。発達の異なる一人ひとりの子ども全員が、遊びを通じて今を幸せに心豊かに生きることを理念として、目指す保育の具体的な実例や考え方を、研修や職員会議時に資料等で職員に周知する取組を行っている。

【子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。】

子どもの自分でやろうとする気持ちややりたい気持ちを受容し、子ども自身ができるように適切で必要最小限の援助を行っている。また子どもが達成感を味わえるよう、できた際には誉めることを徹底している。さらに子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。

【保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。】

日々の送迎時の会話や個別面談等によって、保護者との信頼関係を構築し、相談案件によっては、子育て中の保育士、保育コーディネーター、小学校接続担当なども対応している。

子どもへの対応で配慮が必要なこと等については、リーダ会議や職員会議のほか、報告書により共通理解を図っている。また困りなど必要な場合は児童発達支援事業を紹介している。

【保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。】

保育振り返りチェックシートにより、保育者各自が自らの保育実践の状況を振り返り、その集計結果は職員会議で報告し、それを生かしながら職員全体の保育力の改善に努めている。また姉妹園での巡回・互見研修を実施している。そこで職員間の話し合いを行い、主体的に保育実践の振り返りを行い、お互いの学びあいや意識の向上に繋げている。

#### ◇改善を求められる点

【子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。】

令和6年度よいこの森こども園事業「中長期計画」の「中期計画」には地域との連携・保護者支援に4項目の計画を策定していることから、今後の取組みを期待する。

#### ⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回受審にあたり、自己評価等をする中で改めて森友会の保育・教育の振り返りや園としての役割、改善すべき点を考える良い機会になりました。

調査当日は、自己評価をもとにした聞き取りや実際の現場の実態等を踏まえた的確な助言等をいただくことができ、感謝しております。

今後につきましては、改善すべき点等の特記事項（地域との連携・保護者支援の中長期的な計画の取組み）を本園の課題と受けとめ、評価いただいた項目についても更なる向上に努めていき、法人の理念である「全ての子どもの最善の利益のために」を念頭におき、邁進してまいります。

#### ⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）